



カエデ

Kaede

vol.3
2007 JUL.

ガーデンを考える会 会報



『My ポタジェ』 ワークショップ開催報告

※出展内容（横丁企画）に関するお問い合わせは、
JGS 事務局まで。TEL：03-5614-5492
<http://japangardenshow.com/>

ガーデンまわりの最先端、ここに集まる
ジャパンガーデンショー
2007

JGS2007 のメインテーマ『「MY ポタジェ」＝自分なりの装飾菜園』について、出展を迷っている企業からの問い合わせが多かったため、急遽、7月2日にワークショップを開催することになった。

“「ポタジェ」とは、ただの野菜作りではなく、「庭をデザインする」「育てて観賞する」「収穫して食べる」など全てを味わい、ライフスタイルを楽しむという主旨である。”といった説明後、参加者からは、多くの質問・意見が飛び交い、出展予定者の関心は非常に高く熱心だった。

JGS2007 では「MY ポタジェ」をコンセプトとし、主婦層をはじめ子供から団塊世代の男性までが、ライフスタイルとして活用できるような、新たな市場作り、新たな商品開発ができることを目指している。

「MY ポタジェ」をテーマとした各横丁企画を設けている JGF2007 は、新たな市場のスタートとなるだろう。

今月のコラム

小林 秀樹（東洋エクステリア（株））

私が社会人1年目に、全く未知のエクステリアビジネスと出会い、先駆者よりこの仕事のテーマは‘外部空間を第2のリビングにすること！’のメッセージに衝撃を受け、以来28年が経過しました。インテリアに相對して、エクステリアと命名されたこのビジネスは、それまで様々な現場に合わせてオーダー対応していた門扉や外柵を、工業製品化した約40年前に大きな変革期を迎え、その後アルミ建材メーカーなどが続々と参入し、ニッチながら一つの産業になるまで発展しました。

それまで主流だった鋳物・鉄工所、竹・木工所での製品には、手作り品としての良さはあったものの、そうした1現場1デザインの、多品種少量製品を工場生産し、速やかにリーズナブルな価格でお届けする、規格品の効果が市場で認知され、その後全国に普及するのに、多くの時間を要しませんでした。

私がエクステリア専門メーカーに入社後の高度成長期から、バブル崩壊までの10数年間に及ぶ、毎年2ケタの成長期を振り返ると、当時の勢いは今でも驚きを隠せませんが、このようなフォローの中でITビジネスやユーザーをターゲットとする、エクステリア専門ショップが起業されたことも、市場を活性化した大きな要因となっているものと思います。

バブル崩壊後は、他の産業同様に成長が鈍化し、売上も横バイ状態ですが、2006年度現在の市場規模は、前年比4%増の約1,560億円が門扉・フェンスなど金属製品の出荷金額となっています。

又、これに物置・ブロック・レンガ・タイル等を加え、且つ設計・施工を含めた完成品の市場規模は、上記金額の3倍程度と想定しますが、ユーザーがエクステリアにかかる費用は、建物にかかる費用の10%にも満たない規模に留まっています。

これは、敷地の半分はエクステリアの空間であることを冷静に考えれば未だ低過ぎる現状ではないかと思われま

す。以上、エクステリアの生立ちと市場規模を紹介して参りましたが、次にこれからの課題と社会的使命を再確認したいと思います。

まず、今後の成長を図る上での課題を纏めれば『ユーザー参加型で、且つ地域の素材を積極的に採用し、安心して外部空間での生活を楽しむ事ができる商品・現場を創る』ことが規範となるように感じます。次に社会的使命として担うことは、『エクステリアは、自然とヒトが主役の生活産業であり、そこに暮らす家族と街を豊かにする』ということかと思ひます。

しかし、このように課題と使命を述べながらあらためて気付くことは、

「エクステリアも園芸・ガーデンも全く同様の課題と社会的使命を担っている」、ということです。

11年前に縁あって【NPO ガーデンを考える会】を発足した両産業には、依然として商品の性格や販売システムの違いによる隙間が垣間見られますが、ユーザーに対しては全く同じ使命を担うビジネスの同志として、もう一度将来に向けた関係強化に努めていくことが必要でしょう。

家族がもっと庭に出てアウトドアライフを楽しみながら美しい心を育める、そんな街を増やしてゆく為の様々な仕掛けやアイデアを会員の皆様と考え出し、実践してゆくことを願っています。



業界 NEWS

◆花の観光地づくり大賞を募集

（社）日本観光協会では「第9回花の観光地づくり大賞」の募集を行っている。花の名所や景観を整備する事業を推進し、地域の観光振興に寄与している団体等を表彰し、さらなる発展を支援するため、（財）日本宝くじ協会の協力を得て、優れた品質・デザインのプランターを贈呈する。選考方法は応募資料（1600文字の原稿と活動内容の写真）によるもので、締め切りは7月31日まで。詳しくはホームページにて。 <http://www.nihon-kankou.or.jp/home/>

◆九州で植木・資材展示会、2000名が入場し、盛会裡に

植木関係では初めての植木・資材展示会が（社）日本植木協会九州ブロックの主催で6月7・8日、福岡県の久留米植木市場内で開催され、植木関係会社・団体約20社、資材関係64社が出展した。2日間の入場者は約2000名を上回り盛況であった。当会の会員も、キンボシ、グリーンポット、グローベン、タカショー、福彫、横浜植木、リック、リッチェルなどが出展した。

今月の会員紹介 木内造園 （代表 木内 裕）

<http://kiutizouen.parfe.jp/>

-- 東久留米市にある小さな植木屋です。

独立して3年目。

植木・庭木の剪定・植木・庭木の植栽・植木の伐採・植木の移植・小さなお庭づくり・ガーデニングのお手伝い・草取り・芝張り・・・など剪定中心の仕事をしています。

地域密着型でリーズナブルな（決して格安ではありませんが）値段の植木屋と、好評です。

お気軽にお問い合わせください。TEL：0424-24-3655 FAX：0424-24-2894

事務局だより

今年のジャパンガーデンショー学生コンテストは、昨年を上回る申込み数で、年々増加傾向にあるようです。今年もコンテストに参加される、日本工学院八王子専門学校の担当の先生、実は、教師になる前に、このコンテストの一般部門に参加され、銀賞を受賞されたそうです。その後、教師になり生徒達に参加の機会を与えて、昨年見事に学生部門金賞を受賞！

昨年、東京農大の学生さんと一緒に食事をする機会がありました。その学生さんは、偶然その年のコンテストに参加された方でした。大学の研究室では、このコンテストは恒例の一大イベントのため、先輩から後輩へ引き継がれているそうです。‘入賞できなかった～’と悔しそうに語っていたのが印象的でした。

また、当会会員でもあるE&Gアカデミーさんでは、授業のカリキュラムに組んでくださっているとか。学生さんにとっては、日頃勉強したことを発揮できる貴重な場となっているようです。多数の応募の中から、会場で出品できるのはたったの4作品です。先日、厳正な審査の結果、その4作品は決まりました。あとはショー開催初日に審査を行い、金賞が決まります。

※「会員の皆様のニュースをお寄せください！」

イベントやツアーなどの催しや会社移転などの告知、商品についての情報などを紹介いたします。お申込みは、資料を郵送またはFAX、E-mailなどで下記事務局まで。お待ちしております。

ガーデンを考える会 事務局

〒451-0045 名古屋市西区名駅2-25-10 ヤマエイビル4F

TEL：052-571-7911 FAX：052-571-2208

E-mail：npogarden@green-joho.jp